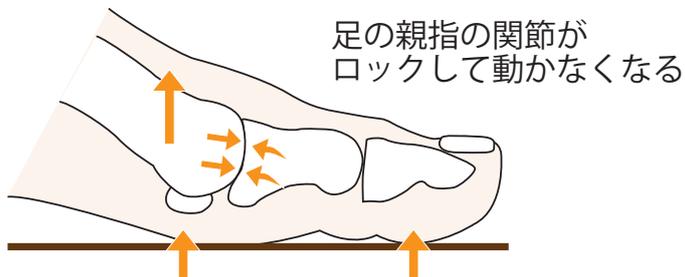


強剛母趾は、第一 MTP 関節（母趾の付け根）が障害されている状態で、強剛母趾があると可動域が制限されて足の親指を上十分に反らすことができません。歩行時に圧が MP 関節に集中してしまい、変形や痛みを伴います。重症になると関節はほとんど動かなくなります。



強剛母趾の原因

関節への外傷、第一中足骨が長い、第一中足骨が挙上する、回内などが原因に挙げられます。



自宅でのケア

- ▼重症な場合は、運動を控えてください。
- ▼室内でもインソールと合わせて室内履きを使用するのもよいでしょう。
- ▼アキレス腱のストレッチにより、母趾への負担を軽減することができます。



治療方法

- ▼患部への注射
炎症を抑えるため、足の指に局所注射をすることもあります。
- ▼装具
関節に余裕を持たせるためのインソールを処方します。
- ▼強剛母趾の手術
痛みが改善されない、または痛みが強い場合には手術をおすすめしております。

軽～中等度の場合

遠位中足骨短縮骨切り術

神経ブロック又は全身麻酔を行い、中足骨の遠位部の骨を切り、位置を補正した後にネジで固定します。

入院期間は 3～5 日（片足の場合）が目安です。経過や状態によりその期間は前後する場合があります。手術後 1 ヶ月間は治療用の靴、またはサンダルを装着していただきます。

